

はた た ち

平成 23 年
荒尾市成人式

の 誓 い

1月9日(日)、文化センターで平成23年荒尾市成人式が開催されました。荒尾市では484人が新成人となり、大人としての第一歩を踏み出しました。

荒尾市の成人式は、新成人の手作り。式典の前には、新成人の代表が撮影した「恩師からのビデオレター」が上映され、会場は笑顔に包まれました。式典の後は、抽選会と小学校区ごとの記念撮影が行われました。

二十歳の今、どんなことをしていますか。成人式会場で新成人にインタビューをしたところ、さまざまな答えが返ってきました。市の内外で介護の仕事をしている人、三交代で自動車の部品や荷造り用の結束紐を作っている人、大学生として、英語、国際文化看護など多岐多様な分野で学んでいる人。同じ二十歳の節目を、それぞれの立場で迎えています。

一人ひとりがすでに、社会の大切な構成員。彼らはこれから新成人として、新たな自由を手にし、新たな責任を負って、社会を支えていきます。

新成人の皆さん、成人おめでとうございます。皆さん一人ひとりの存在が、きっと明日の日本を良くする力になります。自分の心に秘めた「誓い」を胸に、社会に大きく羽ばたいてください。



松原 隼さん (岱洋東)

造船所勤務の松原さん。「大物」とは、「同僚らに慕われ、経済的にも心にもゆとりがある器の大きな人物」だそうです。片鱗がすでにうかがえる、たのもし表情。



山口みどりさん (川登)

介護の現場で働く山口さんは、触れあうお年寄りの笑顔と感謝が嬉しく、何よりの励みだそうです。みつけた夢はすでに、彼女の傍にあるのではないのでしょうか。

あなたの誓い、教えてください
荒尾市の新成人 484人の「誓い」
4人の皆さんはじめ、インタビュに快く応じていただいた皆さん、ありがとうございました。



宇戸口圭一郎さん (一紡)

司会者の1人である宇戸口さんは、教師を目指しています。中学生の時の数学の先生との出会いがきっかけです。荒尾の学校で活躍する日は、もうすぐそこに。



徳山ひかるさん (小野)

農業大学校で学んでいる徳山さん。将来は実家のナン農家を継ぎたい、と照れる表情に強い意志を感じました。荒尾市のためにも、ぜひ夢を実現してください。